

PRESS RELEASE

2022年2月10日

各位

本店所在地 東京都千代田区麹町二丁目1番地
 会社名 そーせいグループ株式会社
 (コード番号 4565 東証マザーズ)
 代表者 代表執行役社長 CEO
 田村真一
 問い合わせ先 IR & コーポレートストラテジー部
 西下進一朗
 電話番号 03-5210-3290 (代表)

2021年12月期連結業績と前期連結業績との差異に関するお知らせ

2021年12月期連結業績（以下、当期連結業績）と、2020年12月期連結業績（以下、前期連結業績）との差異について、下記の通りお知らせいたします。当社グループは2021年12月期の連結業績予想を開示していないため、前期連結業績との差異の説明を行うものです。

記
1. 当期連結業績と前期連結業績との差異

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
前期連結業績 (A) (百万円)	8,842	928	1,622	1,479
当期連結業績 (B) (百万円)	17,712	3,775	433	475
増減額 (B-A) (百万円)	8,870	2,847	△1,189	△1,004
増減率 (%)	100.3	306.8	△73.3	△67.9

2. 差異の理由

売上収益は、主にニューロクライン社からの契約一時金 11,408 百万円を受領したことにより、前期比増加しました。

営業利益は、M1 受容体作動薬 (HTL9936 と HTL18318) を保守的に見て全額減損し、それに伴う 3,064 百万円の会計上の損失 (非現金) を計上しましたが、主に売上収益が増加したことによりこれを相殺し、前期比増加しました。

税引前利益は前期比で減少しました。これはニューロクライン社とのライセンス契約締結に伴い、2015年の当社子会社である Heptares Therapeutics Ltd.の旧株主からの株式取得時の契約上の条件付対価の支払いを金融費用 2,891 百万円として計上したためです。なお、この条件付対価の主たるものは2021年末をもって期限を迎えたため、今後の負担はかなり限定的なものとなります。

PRESS RELEASE

※詳細は、2022年2月10日付け当社プレスリリース「無形資産の減損、条件付対価評価損および医薬品の販売に関連する収入の計上に関するお知らせ」もご参照ください。

以上

Sosei Heptares について

当社グループは、Gタンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした独自の StaR[®]技術並びに構造ベース創薬（SBDD）技術から生み出される新薬候補物質の探索および初期開発にフォーカスした、国際的なバイオ医薬品企業グループです。当社グループは神経疾患、免疫疾患、消化器疾患、炎症性疾患など複数の疾患領域において、幅広いパイプラインの構築に取り組んでいます。

これまでアッヴィ社、アストラゼネカ社、バイオハイブン社、ジェネンテック社（ロシュ・グループ）、GSK社、ニューロクライン社、ノバルティス社、ファイザー社、武田薬品工業株式会社などの大手グローバル製薬企業および新興バイオ医薬品企業と提携しています。当社グループは、東京に本社を置き、英国のケンブリッジに研究開発施設を有しています。

「Sosei Heptares」は、東京証券取引所に上場しているそせいグループ株式会社（証券コード 4565）のコーポレートブランドです。「そせい」、「Heptares」、当社グループのロゴおよび StaR[®]は、当社グループの商標または登録商標です。

詳しくは、ホームページ <https://soseiheptares.com/> をご覧ください。

LinkedIn: [@soseiheptaresco](https://www.linkedin.com/company/soseiheptaresco)

Twitter: [@soseiheptaresco](https://twitter.com/soseiheptaresco)

YouTube: [@soseiheptaresco](https://www.youtube.com/channel/UCsoseiheptaresco)